資料番号	1

令和８年 11 月 19 日
課　名　農林水産局水産課
担当者　担当課長　住吉
内　線　3613

広島かきの生産出荷状況について

１　要旨・目的

令和８年度シーズンの広島かきについて、現時点の生産出荷状況を報告する。

２　現状・背景

11 月２日から、広島かきのむき身出荷が始まり、出荷状況について、関係漁協に対してアンケート調査を実施した。

また、かき作業場において、むき身重量測定、成育状況の聞取りなどを実施した。

※11 月２日から５日まで。県内 18 地点。（うち７地点では未出荷）

３　生産出荷状況

（１）出荷状況

・11 月 13 日現在、関係漁協に対するアンケート調査によると、生産者の約５割に当たる 143 名が出荷を開始している。

・出荷していない生産者のうち、52 名は 11 月中下旬から、残り 37 名は 12 月以降に出荷予定。（未回答 27 名）。

・生産者からの聞取り調査では、各生産者の出荷量は平年の２～８割程度となっており、総じて出荷量が少ない状況になっている。

（２）成育状況

・全体的に身入りが遅れており、多くの地区で平年よりサイズが小さい。

（３）へい死状況

・11 月 13 日現在、へい死の割合は、３年養殖かきで５～９割となっている。
また、２年養殖かきでは１～９割と、より地区によって大きく異なっている。

・これまで成育が順調であった広島湾西部海域及び広島湾北中部海域においても、へい死の割合が８～９割と高い地区が確認され始めている。

海域	生産者数		成育状況	へい死状況	
	総数	出荷開始		３年養殖	２年養殖
広島湾西部	70	54	・サイズは平年より小さく、むき身重量は平年比８割程度 ・出荷量は、平年の６～８割	・３地区で８割 ・その他の地区で６割	・１地区で８割 ・その他の地区で３～５割と平年並み
広島湾北中部	104	49	・サイズは平年より小さく、むき身重量は平年比７割程度 ・出荷量は、平年の６～８割	・２地区で９割 ・１地区で８割 ・その他の地区で５～７割	・２地区で８割 ・その他の地区で１～５割と平年並み
広島湾南部・呉湾	21	17	・サイズ、むき身重量ともに平年並み ・出荷量は、平年の７割	・７～９割	・６～９割
広湾	32	15	・サイズ、むき身重量ともに平年並み ※出荷量は、確認できず	・９割 ※１地区のみの報告	・８割 ※１地区のみの報告
三津湾	32	8	・サイズは平年より小さく、むき身重量は平年比６割程度 ・出荷量は、平年の２割	・９割 ※１地区のみの報告	・８割 ※１地区のみの報告
合計	259	143			

４　今後の対応

（１）成育状況調査

・引き続き、関係漁協にアンケート調査を実施し、定期的に成育状況の確認を行う（毎週水曜日〆、金曜日集計)。

（２）むき身調査（例年実施）

・毎月（10 日前後)、かき作業場（18 カ所）で成育状況（むき身重量測定)、出荷状況の調査を実施する。

（３）へい死状況の確認と対策の検討

・今後の生産状況を確認した上で、生産者の声も伺いながら、必要に応じて、機動的に対策を検討する。